

ベトナム人日本語学習者の漢越語知識と漢字語彙習得についての考察 —現地における正誤判断テストとインタビュー調査から—

中川 康弘 ・ 小林 学

要 旨

本研究は、ベトナム人日本語学習者の漢越語知識と日本語の漢字語彙習得の関係について実証的な調査を試みたものである。

調査は日能試2級語彙から抽出した日越同形漢字語彙20語を類義語(O)、異議語(D)、同義語(S)に分類、使用教科書の提出課と照合させながら正誤判断テストを作成し、ベトナムの大学で日本語を学ぶベトナム人学習者69名を対象に実施した。加えて、テスト実施後、協力者十数名に対してフォローアップインタビューを行い、正用、誤用の要因を探った。

調査の結果、習得の難易の要因が、日本語の漢字語彙と漢越語の意味の重なりや違いからくる転移以外に、習得方法、教育方法によるところも大きいことがわかった。

このことから、漢字語彙指導にあたっては、日越同形漢字語彙を初級段階から積極的に扱う、漢越語との違いを意識的に明示するなど、ベトナム語母語話者に特化した教え方を確立することの重要性に触れた。

【キーワード】漢越語、日越同形漢字語彙、ベトナム人学習者、正誤判断テスト、転移

1. はじめに

近年、政治経済、観光など各分野において、ベトナムと日本は活発な交流がなされている。日本語教育も例にもれず、ベトナム人日本語学習者は増加、多様化傾向にあることから¹、今後ベトナム語を母語とする日本語学習者に特化した教育環境の整備が求められることは必至であろう。だが一方で、ベトナム語には漢字語彙が多く含まれ、それが彼ら、彼女らの日本語学習に影響を与えていることはあまり知られていない。筆者らのベトナムでの日本語教育経験では²、ベトナム人日本語学習者の漢字語彙習得過程において、中国語を起源とし生成されていったベトナム語、いわゆる漢越語(HÁN VIỆT)の影響と思われる正用、誤用が多く散見されたが、この漢越語を対象にした日本語教育研究については、ほとんど見当たらないのが現状である。

¹ 国際交流基金『海外の日本語教育の現状－日本語教育機関調査2006年－(概要版)』によると、ベトナム人日本語学習者数は29,982人で3年前に比べ1万人強の増加である。また日本国内で外国人登録者にベトナム人研修生の増加が目立つ(入管協会2006『在留外国人統計』)ことから学習者背景の多様化が窺える。

² 本稿の執筆者である中川、小林とも、国際協力機構青年海外協力隊日本語教師として、ベトナムの大学で日本語教育に携わった経験を持つ。

2. 研究の背景

漢越語は後漢末期、ベトナム語に存在しない二音節の中国語を真似ることで普及していったと言われている(三根谷 1993、Luu2002)。やがて意味、用法が一致しないものが生成され、現代ベトナム語に含まれる漢越語は約 70%に及ぶとされる(川本 1979、岩月 2005)。

この漢越語を日本語教育と関連付けたものには、藤井(1986)がある。藤井は、日中朝ベトナム語漢字語彙の類似性をまとめ、母語と結びつける学習と文化的共通性、相違点を理解することの重要性に触れている。また母語と日本語の異同によりベトナム人学習者は類縁語彙使用者であるとした海保(2001)も、その語彙習得の有利性について述べている。

このように、ベトナム人日本語学習者にとっての漢越語知識の活用は有益な点が指摘されており、日本語教育に応用できる研究には、記述研究として中日ベトナムの 3 言語から、前後交代、音韻変化等の特徴を記した Yén (2005) がある。また漢越語と日本語の漢字語彙習得の関係を調査した実証研究としては、日本のベトナム人留学生約 20 名に正誤判断テストとインタビューを実施した中川・小林(2006)が挙げられる。基礎研究としての位置付けながら、ここでは学習者が初めて知る使い方に遭遇した場合に漢越語知識と対照させている例や、漢越語の意味と混同する例などが見られ、漢字語彙理解の際に漢越語知識を活用していることが確認された。

3. 研究目的

日中漢語の対照研究では、日中同形漢字を意味にずれのある語(O=overlap)、中国語にないもの(N=nothing)、異義語(D=different)、同義語(S=same)とした文化庁(1978)分類を参照した研究が多くなされている(陳 2003、加藤 2005 等)。そこでは、主に中国語の意味、用法に日本語を対応させて習得に結びつける、いわゆる「対連合学習」(松見 2002)の影響が現れ、S→Nの順に理解しやすく、D、Oは意味が異なる部分があるために誤用が多いことが明らかになっている。

そこで今回は、前述の中川・小林(2006)を受け、ベトナム国内にいるベトナム人学習者に焦点を当てる。そして彼らが、漢越語知識をどう日本語の漢字語彙習得に結びつけているのか探ることを本研究の目的とする。

なお、調査を実施するにあたって、次の 3 点を仮説とした。

- ①中国語の先行研究と同様、漢越語も O、D、S では、S が最も正答率が高くなる
- ②用法が同じであれば、異なる分類に属していても、平均に差が見られない
- ③日本語の漢字語彙を認識する際、漢越語からの転移が多く見られる

これらの結果を考察しつつ、効果的な漢字語彙教育について言及していく。

4. 調査概要

4.1 調査協力者

首都ハノイの 3 大学に調査を事前依頼し、3 大学あわせて 69 名の協力者を得た。いず

れも大学で日本語を専攻する学習者で、中級を終えた程度の日本語レベルである。

4.2 調査方法

調査方法は、正誤判断テストと解答時の内省データを得るために行ったインタビューを主とした。テスト作成については、日本語能力試験2級語彙6000語のうち、二音節日越同形漢字1979字を抽出、文化庁(1979)に倣い、O(意味にずれのある語)62語、D(異義語)75語、S(同義語)667語に3分類し、その中からO10語、D5語、S5語を選び、扱う漢字語彙を20語とした。語の選定にあたっては、学習者全員が使用した教科書『みんなの日本語I・II』(スリーエーネットワーク)および『中級日本語』(東京外国語大学留学生日本語教育センター編、凡人社)に提出され、日越両言語で同じ品詞の漢字に絞り、正誤判断テストを作成した。使用した語彙は表1のとおり。

表1 テストに使用した語彙の教科書提出課と使用例

	使用語彙	分類	提出課(み…『みんなの日本語』 中…『中級日本語』)	教材内使用例
1	運転	D	み18	車の <u>運転</u> ができます
2	運動	S	み32 / 中19	毎日 <u>運動</u> したほうがいいです(み32)
3	距離	O	中20, 10	(マラソンの) <u>距離</u> (中20)
4	自然	O	み50 / 中4, 5, 9	桜は昔から <u>自然</u> に生えていた(中5)
5	工場	D	み36, 38	自動車 <u>工場</u> (み38)
6	豊富	S	中7, 9	新鮮な材料が <u>豊富</u> に手に入る(中7)
7	手段	O	中21	あらゆる <u>手段</u> でメッセージを送る
8	文明	O	中17	<u>文明</u> を持った宇宙人
9	材料	D	み42 / 中9	(ミキサーで) <u>材料</u> をまぜます(み42)
10	利用	S	み37 / 中4, 9, 19	24時間(空港が) <u>利用</u> できる(み37)
11	反対	O	み47 / 中13	大統領の意見に <u>反対</u> だ(み47)
12	実際	O	中18	駅では <u>実際</u> に放送されている
13	部長	D	み18	資料を(会社の) <u>部長</u> に見せる
14	世界	S	み12 / 中4	<u>世界</u> でどこが一番きれいですか(み12)
15	変化	O	中3, 7, 10, 15, 19, 21	日本人の生活は大きく <u>変化</u> した(中3)
16	議論	O	中21	いろいろな <u>議論</u> がある
17	親	D	み8, 41	ミラーさんは <u>親</u> です(み8)
18	空気	S	み44 / 中10, 18, 20	(田舎は) <u>空気</u> もきれいです(み44)
19	主人	O	み9	ご主人はどうしてテニスをしませんか
20	発展	O	中9	日本の工業が <u>発展</u> し、交通も発達…

なお、分類については日越双方の辞書(『大辞林』『ĐẠI TỪ ĐIỂN TIẾNG VIỆT』)の定義を参考とした上でベトナム語ネイティブスピーカーのチェックを経た。詳細を表2に記す。

表2 漢越語の分類

分類	小分類	本稿での略称
O (日本語とベトナム語で意味・用法にずれがあるもの)	意味、用法が重なるもの	O (日○ベ○)
	日本語にはあるが、ベトナム語にはない用法	O (日○ベ×)
	日本語にはないが、ベトナム語にはある用法	O (日×ベ○)
D (日本語とベトナム語で、意味・用法が異なるもの)	日本語にはあるが、ベトナム語にはない用法	D (日○ベ×)
	日本語にはないが、ベトナム語にはある用法	D (日×ベ○)
S (日本語とベトナム語で、意味・用法がほぼ同じもの)	意味が一義的な用法	S (一義)
	意味が二義的な用法	S (二義)

O について言えば、①意味・用法が重なるもの、②日本語にあるがベトナム語にない用法、③日本語にないがベトナム語にある用法の3つに分けられる。たとえば、「反対」という言葉は、漢越語で“phản đối”である。“phản đối”は「あなたの意見に“反対”する」という使い方があるので、この点では意味・用法が重なる。だが「シャツの前と後ろが“反対”だ」という場合に“phản đối”は使えないので、この用法は日本語にはあるがベトナム語にはないものとなる。よって「反対」はOに属することになる。このように、ずれや違いを学習者が正しく認識できているかを調査するため、一つの語に対し「意味・用法が重なる」例文と「意味・用法にずれがある」例文の2題を用意した。DとSについても同様である。つまり、テストは各語彙2題、合計40題の正誤判断問題文で構成されていることになる。正答の組み合わせは、一方が○、一方が×というパターンにならないように○と○の組み合わせも作り、実施の際には「○が二つという場合もある」という説明を施した。参考までに、6. 考察で取り上げた漢字をテスト例に挙げる(詳しくは別添の資料1参照のこと)。

表3 テスト例と分類 (日○…日本語では正用 / 日×…日本語では誤用、
ベ○…漢越語では正用 / ベ×…漢越語では誤用)

テスト例 (実際のテストは漢字のふりがな付)	分類	
反対 ① () 私はあなたの考えに <u>反対</u> です。 ② () 前と後ろが <u>反対</u> ですよ。早く着替えてください。	O	日○ベ○
		日○ベ×
主人 ① () この犬の <u>主人</u> はお金持ちなので、犬にダイヤモンドの首輪を買ってあげました。 ② () 私の家族は、 <u>主人</u> と子ども2人の4人です。	O	日○ベ○
		日○ベ×
実際 ① () 話には聞いていたけど、 <u>実際</u> その場所に行ってみてよかったです。 ② () 結婚した友だちに、皿やコップなど <u>実際</u> のプレゼントをあげました。	O	日○ベ○
		日×ベ○
議論 ① () 今日は環境問題についてみんなで <u>議論</u> しましょう。 ② () ベトナムでは中学生になると様々な社会問題についての <u>議論</u> 文を練習します。	O	日○ベ○
		日×ベ○
部長 ① () 首相は国際会議に出席し世界の国々の <u>部長</u> と話し合いました。 ② () 彼は30歳のとき、あの会社の <u>部長</u> になりました。	D	日×ベ○
		日○ベ×

工場 ① () この工場では、30階建てのビルを建設しています。 ② () この町は、自動車や電気製品などの工場がたくさんあります。	D	日×べ〇 日〇べ×
世界 ① () お金があったら、世界旅行したいです。 ② () スポーツの世界では、勝つことだけが大切ではありません。	S	日〇べ〇 日〇べ〇

さらに加えて、テスト終了後、協力者のうち15名にフォローアップインタビューを実施し、テスト解答時に漢越語知識を活用させたかどうかの内省データを得た。

5. 調査結果

5.1 テスト結果

まず、解答者数69名、40問のうち、D、O、Sそれぞれの正答率を以下の表に記す。

表4 D、O、S分類ごとの正答率 (N=69 Nは解答者数)

	D	O	S
問題数	10	20	10
正答数	511	913	375
総解答数	690	1380	690
正答率	74%	66%	55%

表4にあるように、3分類中の正答率はD、O、Sの順になった。また、D、O、S内での正答率は以下のとおりである。

表5 各用法内での正答率 (N=69 Nは解答者数)

用法	D		O			S	
	日〇べ×	日×べ〇	日〇べ〇	日〇べ×	日×べ〇	S1	S2
問題数	5	5	10	5	5	5	5
正答数	270	241	485	180	248	292	83
総解答数	345	345	690	345	345	345	345
正答率	78.5%	70.1%	70.4%	52.2%	72.1%	84.9%	24.1%

表5を見ると、Sの中でも意味、用法が一義的なものと二義的なもので正答率が大きく違っていることがわかる。またOの中では、他の用法の正答率が70%以上なのに比べO(日〇べ×)についてのみ52.2%となっている。そこでO、Dという分類の違いが同用法の平均に差をもたらすかどうかをはかるべく、O(日〇べ×)と同じ用法であるD(日〇べ×、78.5%)を「独立したサンプルのt検定」にかけた。その結果、Leveneの検定の有意確率は.155で通常の仮説棄却率0.05(5%)より大きく、2つの群の母分散には違いがない。そして「等分散を仮定する」の項ではその有意確率が.119となっていた。よって、O(日〇べ×)とD(日〇べ×)には有意な差が見られず、「用法が同じであれば、異なる分類に属していても平均に差が見られない」という仮説②は支持された。

次に各分類に属する漢字について触れたい。平均値とグラフを用法ごとにまとめて示す。

表6 D(日〇ベX)の平均値表

(N=69 Nは解答者数)

漢字	部長	親切	材料	運転	工場
度数(人)	68	59	55	52	36
平均値(%)	99	86	80	75	52

* (人) とは、各漢字の正答者数を意味する

図1 表6の平均値に対する棒グラフ

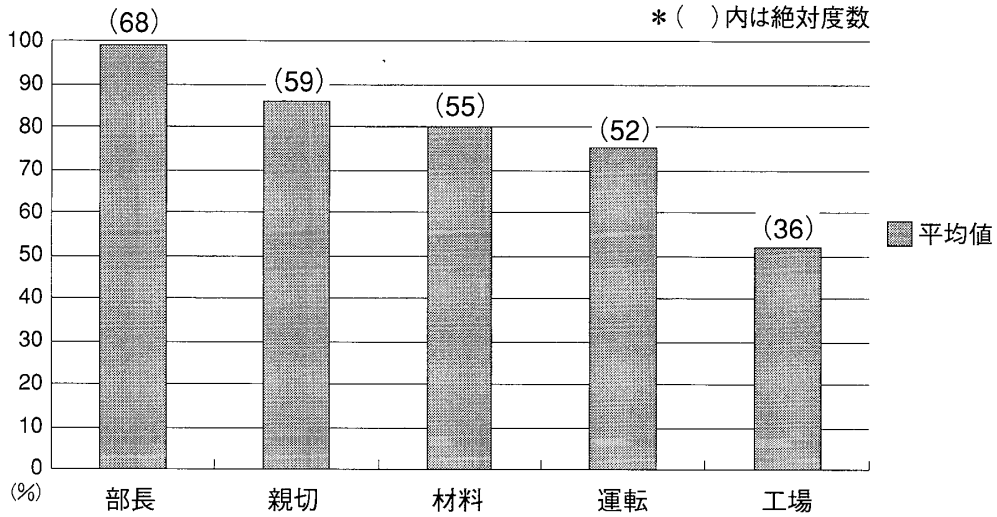


表7 O(日〇ベX)の平均値表

(N=69 Nは解答者数)

漢字	主人	変化	手段	距離	反対
度数(人)	58	54	35	17	16
平均値(%)	84	78	51	25	23

* (人) とは、各漢字の正答者数を意味する

図2 表7の平均値に対する棒グラフ

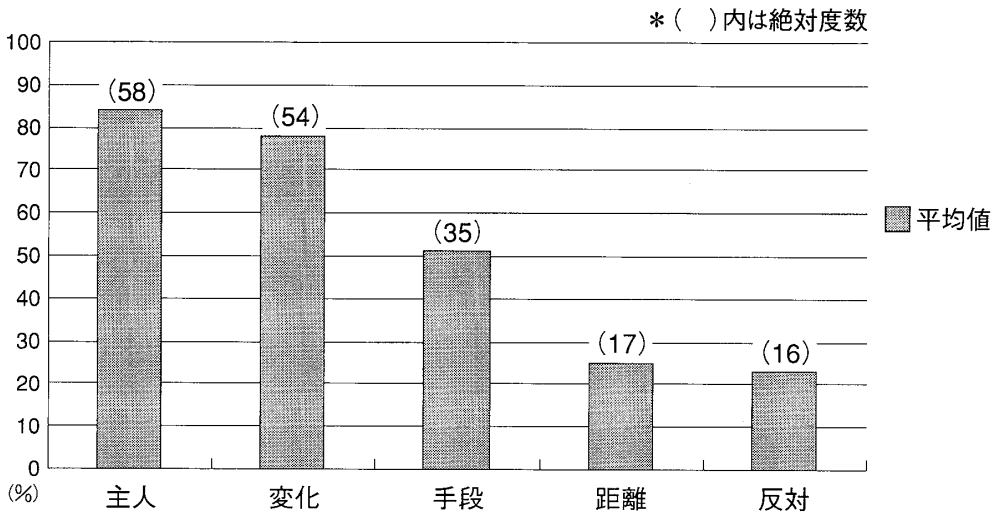


表 8 D (日×べ○) の平均値表

(N=69 Nは解答者数)

漢 字	部長	材料	運転	親切	工場
度数 (人)	58	55	51	50	27
平均値 (%)	84	80	74	72	39

* (人) とは、各漢字の正答者数を意味する

図 3 表 8 の平均値に対する棒グラフ

* () 内は絶対度数

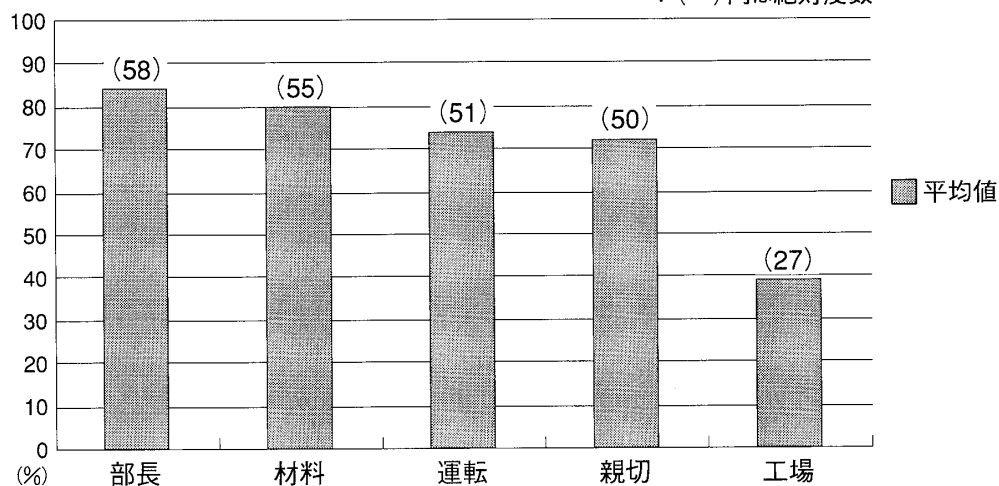


表 9 O (日×べ○) の平均値表

(N=69 Nは解答者数)

漢 字	実際	文明	発展	自然	議論
度数 (人)	60	55	53	46	34
平均値 (%)	88	80	77	67	49

* (人) とは、各漢字の正答者数を意味する

図 4 表 9 の平均値に対する棒グラフ

* () 内は絶対度数

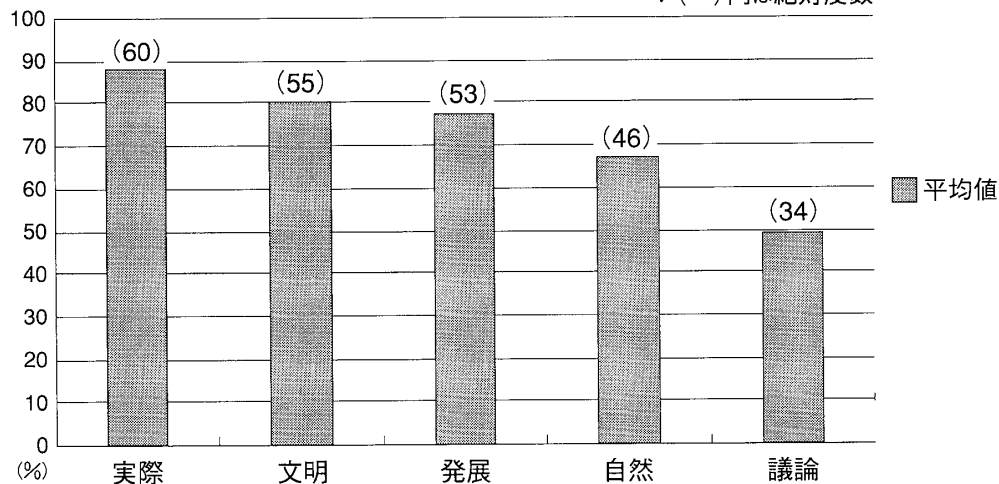


表10 O (日○べ○) の平均値表

(N=69 Nは解答者数)

漢字	反対	実際	距離	文明	発展	自然	議論	手段	変化	主人
度数 (人)	65	63	61	60	58	51	44	43	22	18
平均値 (%)	94	91	88	87	84	74	64	62	32	26

* (人) とは、各漢字の正答者数を意味する

図5 表10の平均値に対する棒グラフ

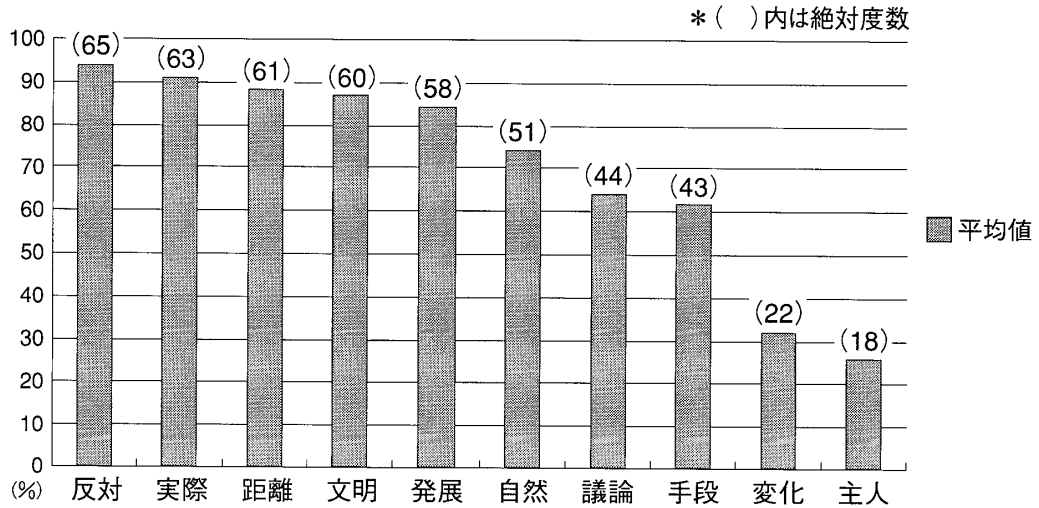


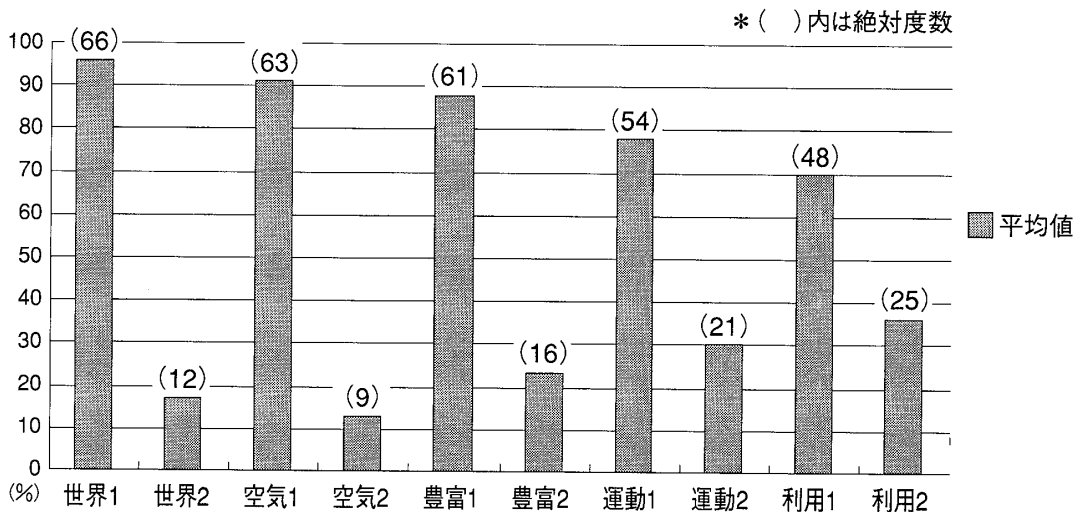
表11 S の平均値表 (一義的用法を1、二義的用法を2とした)

(N=69 Nは解答者数)

漢字	世界1	世界2	空気1	空気2	豊富1	豊富2	運動1	運動2	利用1	利用2
度数 (人)	66	12	63	9	61	16	54	21	48	25
平均値 (%)	96	17	91	13	88	23	78	30	70	36

* (人) とは、各漢字の正答者数を意味する

図6 表11の平均値に対する棒グラフ



続いて、テスト終了後に実施したフォローアップインタビュー（以下 FUI）結果を記す。

5.2 FUI 結果

今回、調査協力者の時間的制約などにより 15 名分のデータに限られたが、一定の傾向は把握できると考え参考とした。なお紙面の都合上、ここでは平均値の最も高いものと低いものを挙げる。

表 12 FUI コメント

分類	漢字(平均)	正答、誤答のコメント		*文末の数字は回答人数
D 日○ ベ×	部 長 (99%)	正	勉強した、知っていた⑨、“会社”と一緒に使う言葉だから⑥	
		誤	なし	
	工 場 (52%)	正	“工場=製品を作るところ”と習ったから②、“工場=何かするところ”と自分で考えた①	
		誤	ベトナム語で言わないから⑩、あまり使わないから②、漢越語では“công trường”じゃなくて“nhà máy”だから①	
O 日○ ベ×	主 人 (84%)	正	勉強した⑫、“主人=夫、chồng (夫)”と覚えていた③	
		誤	なし	
	反 対 (23%)	正	勉強した②、ベトナム語にないが日本語であると思った①	
		誤	ベトナム語にないから⑦、“逆”という言葉を使ったほうが正しいと思った②、人の意見に対してだけ使うと思った②	
D 日×	部 長 (84%)	正	“会社の部長”という意味で覚えていた⑫	
		誤	ベトナム語で言うから③	
	工 場 (39%)	正	教科書で正しい使い方を習った④	
		誤	ベトナム語で言うから⑩、“工場=建物”だと思った①	
O 日×	実 際 (88%)	正	ベトナム語では言うが日本語では言わないから⑤、わからない時、ベトナム語と日本語の違いを意識するから①、勉強した①	
		誤	ベトナム語で言うから③、わからなかった③、「触れたりみることができたりする」という意味だと思ったから②	
	議 論 (49%)	正	日本語で「議論文」は聞いたことがないから②	
		誤	ベトナム語言う⑦、わからなかった⑤「議論文=作文」と思った①	
O 日○ ベ○	反 対 (94%)	正	勉強した⑦、「考えに反対」で覚えていた⑤、ベトナム語で言う②	
		誤	なし	
	主 人 (26%)	正	ベトナム語で言う②、“主人=何か持つ人”だと習ったから①	
		誤	「主人=夫」で覚え「犬の主人」という使い方は知らなかった⑦、日本語で聞いたことがない④、両言語で言わないから①	
S	世界1 (96%)	正	“世界旅行”で覚えていた⑫、この用法は勉強した③	
		誤	なし	
	世界2 (17%)	正	ベトナム語で考えて正しいと思った②、よくわからなかった①	
		誤	(この使い方が)日本語にないと思った⑧、日本語では「裏の意味」がないと思ったから②、よくわからなかった②	

以上、各漢字の用法ごとの正誤判断テストおよび FUI 結果をまとめた。これらを踏まえ、3. 研究目的で挙げた仮説を検証しながら、考察を行っていく。

6. 考察

まず、仮説①「中国語の先行研究と同様、漢越語も O、D、S では、S が最も正答率が高くなる」については、表 4 のとおり、全体として D の正答率が一番高く (74%)、続いて O (66%)、S (55%) という、仮説と異なる結果になった。S の正答率が低かった要因として、表 5 から、S 1 (一義的な意味、用法) の正答率が一番高い (84.9%) のに比べ、S 2 (二義的な意味、用法) の正答率が著しく低かった (24.1%) ことが挙げられよう。また、3 分類の中で D の正答率が一番高かった要因を考えてみる。「部長」(日×ベ○) を例にとると、ベトナム語では「部長 “bộ trưởng”」は「大臣」という意味にあたる。だが、「会社の部長」という意味で覚えていた」等の FUI の正用コメントから、学習者はベトナム語の意味と異なる漢字語彙の場合、ベトナム語と繋げて覚えるのではなく、全く別の語として捉えていることが考えられる。そしてこのことは、D (日○ベ×) と同用法の O (日○ベ×) で「用法が同じであれば、異なる分類に属していても平均に差が見られない」という仮説②が支持された理由の 1 つとしても考えることができる。O (日○ベ×) に関しても、ベトナム語では「夫」の意味がない「主人 “chủ nhân”」に、「“主人=夫”と覚えていた」という正用コメントが多く見られたからである。

次に、O、D、S 各分類、各用法について考察していきたい。D (日○ベ×) (表 6) で、最も平均値の高い語は「部長」であった。99%とほぼ全員が正答となっている。『みんなの日本語』18 課で扱うこの語は、FUI では誤用のコメントが見られず、「勉強した」、「会社」と一緒に使う」などの正用コメントが得られた。以下、80%以上の語として「親切」、「材料」、75%の「運転」と続き、ベトナム語と異なる意味、用法でありながらも、その違いをきちんと認識していることがわかる。この中で平均値が最も低かったのは 52%の「工場」で、その要因として FUI では既習事項が定着しているコメント(「工場=製品を作るところ」と習ったから)も見られたものの、「ベトナム語で言わない」というコメントが 10 あったことから、この語に限ってはかなり漢越語知識と対照させていたことが考えられる。

O (日○ベ×) (表 7) では、「主人」が 84%と最も平均値が高かった。『みんなの日本語』では 9 課に提出され、FUI 結果では前述したように「“主人=夫”と覚えていた」などのコメントが見られたことから、別の語として習得に結びつけている様子がうかがえる。次に平均値が高かったのは「変化」で、その要因として他の語彙(「手段」『中級日本語』21 課、「距離」同 20 課)と比べて、提出される課が多い(同 3、7、10、15、19、21 課)ことから、定着が促進された可能性がある。最も低かった「反対」(23%)は、「ベトナム語にないから」と転移がうかがえる誤用コメントが多かったほか、FUI では「“逆”という言葉を使ったほうが正しいと思った」など、別の言葉を連想していたことが確認され、この語については使い方の定着が不十分であることがわかった。

D (日×ベ○) (表8) は、「部長」が84%と最も平均値が高く、以下、「材料」「運転」「親切」と続き、「工場」が39%と最も低い語になった。「部長」という言葉は、前述のとおり日本語とベトナム語で意味が異なるものの、「会社の部長」という使い方覚えていた」など、イディオムで定着していることがFUIからうかがえた。一方、表3にある「この工場では30階建てのビルを建設しています」という文での「工場」は、「教科書で正しい使い方を習った」というFUIの正用コメントもあるが、それ以上に「(この使い方は)ベトナム語では言う」というコメントが多かったことから、漢越語知識と結びつけ、誤用を導き出したことが確認された。

Dで興味深いのは、D(日○ベ×)、D(日×ベ○)ともに、最も平均値の高い語が「部長」で、低い語が「工場」だった点である。このことから、ベトナム語と同義、異義であることだけが必ずしも語彙習得の難易度を決定付ける要因になるとは言えず、個々の語によって習得状況には違いがあることがわかる。

O(日×ベ○) (表9) は、「実際」が88%と最も平均値が高かった。表3「皿やコップなど実際のプレゼントをあげました」という問題文に対して、FUIでは、「ベトナム語で言うから(正しいと思った)」という誤用コメントも見られたが、「ベトナム語では言うが日本語では言わない」ゆえに正用に導いたコメントもあったことから、両言語の違いを意識した様子が見える。一方、この中で49%と最も平均が低かった「議論」の場合は、表3「議論文を練習します」という問題文に対し、誤用の理由が「ベトナム語で言うから」と転移によるものが多く、ここでも漢越語知識を対照している様子が見られた。

O(日○ベ○) (表10) にある10語のうち、最も平均値の高い語は94%の「反対」で、低い語は26%の「主人」であった。いずれもベトナム語にある意味、用法だが、なぜ約70%近い差が現れたのか。「反対」について、FUI結果から正用コメントを見ると、「勉強した」という定着がうかがえるもの、「考えに反対」というイディオムで覚えていたというもの、「ベトナム語で言う」という正の転移が見られるものなどがあつた。一方、「(犬の)主人」の場合は、「ベトナム語で言う」という理由で正用を出したコメントは2名のみで、「主人=夫」で覚え「犬の主人」という使い方は知らなかった」と、漢越語と全く別の語として覚えていたことが複数の誤用コメントからうかがえ、漢越語知識を十分に活用できなかったことや、一つの語彙に対し一つの意味のみで覚えていたこと等が誤用の要因として考えられる。

Oに関する特記事項としては、O(日○ベ×)で最も平均値の高い「主人(=夫)」が、O(日○ベ○、「犬の主人」)では最も低く、逆にO(日○ベ○)で最も平均値の高い「(考えに)反対」がO(日○ベ×、「前と後ろが反対」)では最も低かったことである。使用テキストでは“夫”の意味での「主人」しか現れていなかったため、漢越語と異なる用法のみを学ぶことになり、漢越語とは別の語として学ぶことになったのかもしれない。その結果、漢越語と同じ用法(「犬の主人」)が存在してもそれに触れず学習することになり、漢越語知識が十分に活用されないままになっているのではないだろうか。逆に、「反対」は、「考えに反対」というベトナム語と同じ用法しか学ばず、「前と後ろが反対」というベトナム語にない用法の認識

ができないままになっていることが考えられる。母語と同じ用法がある場合はその利点を生かし、また逆に異なる用法の場合はその違いを認識するという過程が必要であるが、この結果からは、そうした指導が不十分であることが読み取れる。

最後に、Sについては、表12のとおりS1とS2の語で平均値の違いが目立った。S1とS2の間の平均値が最も異なる「世界」のFUI結果を見ると、S1は「“世界旅行”で覚えていた」、「この用法は勉強した」など、イディオムで覚えた、既習済みというコメントが見られた。一方、S2（「スポーツの世界」）については「（この使い方は）日本語にないと思った」と、ベトナム語にある用法にもかかわらず正の転移を導き出せないことがコメントからうかがえた。ベトナム人日本語学習者の漢字語彙学習方法が徹底されていないことも垣間見えるが、何よりも使用教科書上の一義的な意味に触れるにとどまり、二義的な意味・用法にまで踏み込んだ指導をしていないという教師側の教育方法が、この結果を導いた要因として大きいことがここでもわかる。

テスト、FUI結果を総括すると、正用では、この用法は既習だった、イディオムや関連語と一緒に覚えた、といった内容のコメントが目立った。両言語で意味、用法の異なる語彙は、ベトナム語と繋げて覚えるのではなく、全く別の語として捉えていたことや、意味・用法が重なる語彙は、正の転移が活性化され、記憶も強化されたということなどがうかがえる。逆に、誤用の傾向としては、他の言葉を使ったほうがいいと思ったというコメントや、一語一義で覚え、他の用法が正しいと認識できなかったことがうかがえるコメントもあったものの、ベトナム語で言うから、もしくは言わないからという、負の転移に関するコメントが圧倒的に多く、漢越語知識が語彙習得に与える影響が顕著に表れていた。

これらのことから、「日本語の漢字語彙を認識する際、漢越語からの転移が多く見られる」という仮説③は支持され、正の転移を促進させることの有効性や、負の転移を避けるような漢字語彙教育の重要性が示唆された。

具体案について言及すれば、正の転移を活性化させるには、教科書に出てくる意味、用法のみを教えるのではなく、初級段階から教科書以外の日越同形漢字を積極的に扱うことが考えられよう。一方、負の転移を避けるためには、日本語の漢字語彙と漢越語との違いを意識的に明示させたり、常にD、O、Sのラベルと共に漢字語彙を導入したりするなどし、負の転移を起こさないように努めることが望ましい。教育現場の環境、条件にもよるが、漢越語知識を持つという利点を最大限に生かすために、ベトナム語母語話者に特化した教授法、教材の確立が極めて重要であると考えられる。

7. おわりに

以上、ベトナム人日本語学習者の漢越語知識と漢字語彙習得の関係について見てきた。その結果、習得の難易の要因が、日本語の漢字語彙と漢越語の意味の重なりや違いからくる転移以外に、個々の語彙の提出頻度や習得方法（イディオムや関連語と共に覚えたかどうか）、教育方法などによるところも大きいことがわかった。

今回の調査は正誤判断テストを主体に行ったが、調査協力者は69名のみゆえ、ベトナム

ム人学習者全体の傾向が明らかになったと無論言い切れるものではない。また時間的制約等の理由により FUI データが 15 名に留まったことから、解答を導く過程を十分に網羅できなかつた点は否めない。

ただし、本研究の発展的調査として、産出面での特徴、非漢字圏学習者との解答傾向の違い等、ベトナム人日本語学習者の漢越語知識と漢字語彙習得に関する興味はつきない。

今後は、より多角的な分析方法、調査方法を模索しつつ、ベトナム人日本語学習者にとって効果的な漢字語彙学習・教育を提案していくことを課題としたい。

謝辞

本研究にあたり、タンロン大学、ハノイ国家大学・人文社会科学大学、ハノイ国家大学・外国語大学の先生方、学生達に調査に協力していただきました。また、統計処理方法に関して、神田外語大学の高野多江子先生に貴重なご助言をいただきました。この場をお借りして感謝申し上げます。

参考文献

- 岩月純一 (2005) 「近代ベトナムにおける「漢字」の問題」『漢字圏の近代 ことばと国家』村田雄二郎、ラマール, C. 編、東京大学出版会。
- 海保博之 (2001) 「非漢字圏日本語学習者に対する効果的な漢字学習についての認知心理学からの提言」『筑波大学心理学系紀要』、筑波大学。
- 加藤稔人 (2005) 「中国語母語話者による日本語の漢語習得—他言語話者との習得の違い—」『日本語教育』125号、日本語教育学会。
- 川本邦衛 (1979) 「現代ベトナム語 漢語・漢字語彙集」特定研究『言語生活を充実発展させるための教育に関する基礎的研究』国立国語研究所。
- 陳毓敏 (2003) 「中国語を母語とする日本語学習者の漢語習得について—同義語・類義語・異義語・脱落語の4タイプからの検討—」『日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会。
- 中川康弘・小林学 (2006) 「漢越語知識がベトナム人日本語学習者の語彙習得に及ぼす影響—正誤判断テストと作文調査の結果から—」『日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会。
- 文化庁 (1978) 『中国語と対応する漢語』大蔵省印刷局。
- 藤井友子 (1986) 『漢字音 すぐに役立つ!! 日中朝ベトナム・共通語彙 408』朝日出版社。
- 松見法男 (2002) 「第二言語の語彙を習得する」『日本語教育のための心理学』、海保博之・柏崎秀子編、新曜社。
- 三根谷徹 (1993) 『中古漢字と越南漢字音』汲古書院。
- Lu, Lê Nguyễn (2002) *TỪ CHỮ HÁN ĐẾN CHỮ NÔM: NHÀ XUẤT BẢN THUẬN HÓA.*

Yén, Nguyễn Thị Hoàng (2005) *Sino-Vietnamese Terms In Modern Vietnamese*: 『神田外語大学紀要』 第 17 号.

1. 運転

- ① () 車くるまを買かったので、早はやく運うんてん転てんしたいです。
- ② () 引ひっ越こしを手て伝つだいましょう。荷にもつ物を運うんてん転てんしますよ。

2. 運動

- ① () 毎まい朝あさ6時じに起おきて、運うんどう動どうします。
- ② () 多おほくの人ひとに会あったり、話はなしをしたりして、選せん挙きやう運うんどう動どうします。

3. 距離

- ① () A選せん手しゆは100mの運きよりりを10秒びやうで走はしりました。
- ② () 恋こい人びとに会あいましたが、久ひさしぶりだたので少すこし運きよりりを感かんじました。

4. 自然

- ① () 人ひと々びとは自し然ぜんを破は壊かいして、ダだムをたたくさんつつくりました。
- ② () 皆みなカラオケを楽たのしんでいる時とき、彼かの女じよは自し然ぜんに帰かえりたいといいました。

5. 工場

- ① () この工こう場じやうでは、30階かい建だてのビけいルを建けん設せつしています。
- ② () この町まちは、自じ動どう車しゃや電でん気き製せい品ひんなどの工こう場じやうがたたくさんああります。

6. 豊富

- ① () 彼かれは30年ねんもこの仕し事ごとをしているので、経けい験けんが豊ほう富ふです。
- ② () 日に本ほんは島しま国くになので、魚さかなやええびななどの海かい産さん物ぶつが豊ほう富ふです。

7. 手段

- ① () 相あ手いてにお金かねを渡わたすといいう手しゆ段だんを使つかって彼かれはビせいジこうネこうスを成せい功こうさせました。
- ② () 気き持もちを伝つたえるたために最さい後ごの手しゆ段だんとして彼かの女じよにラかブかレかターをかきまました。

8. 文明ぶんめい

① () 私の専門は歴史です。大学ではエジプト文明を研究しています。

② () 満員バスの中には、文明が欠けたマナーの乗客がいます。

9. 材料ざいりょう

① () 会議の材料を準備します。

② () 今晚パーティーをするので、料理の材料を買ってきてください。

10. 利用りよう

① () 父親が政治家だということを利用して、彼もビジネスに成功しました。

② () 風を利用して、紙飛行機を飛ばしました。

11. 反対はんたい

① () 私はあなたの考えに反対です。

② () 前と後ろが反対ですよ。早く着替えてください。

12. 実際じっさい

① () 話には聞いていたけど、実際その場所に行ってみてよかったです。

② () 結婚した友だちに、皿やコップなど実際のプレゼントをあげました。

13. 部長ぶちょう

① () 首相は国際会議に出席し、世界の国々の部長と話し合いました。

② () 彼は30歳の時、あの会社の部長になりました。

14. 世界せかい

① () お金があったら、世界旅行したいです。

② () スポーツの世界では、勝つことだけが大切ではありません。

15. 変化

① () このアニメは薬で人間に変化した猫が、男性を好きになる話です。

② () 10年の間に私の住んでいる町の様子はずいぶん変化しました。

16. 議論

① () 今日は環境問題についてみんなで議論しましょう。

② () 中学生になると、様々な社会問題についての議論文を練習します。

17. 親切

① () 彼と私は子供の時からよく遊んでいたので、とても親切な関係です。

② () かぜをひいた時、彼はご飯を作ってくれました。とても親切です。

18. 空気

① () 山の上に行けば行くほど、空気は少なくなります。

② () スピーチする前なので、周りには緊張した空気があります。

19. 主人

① () この犬の主人はお金持ちで、犬にダイヤモンドを買ってあげました。

② () 私の家族は、主人と子ども2人の4人です。

20. 発展

① () 日本の工業は、特に1960年代に発展しました。

② () 人間の脳は生まれてから3年間で急に発展すると言われています。